

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 24 日 (2020.9.24)

【公表番号】特表 2020-524376 (P2020-524376A)

【公表日】令和 2 年 8 月 13 日 (2020.8.13)

【年通号数】公開・登録公報 2020-032

【出願番号】特願 2019-570065 (P2019-570065)

【国際特許分類】

H 0 1 M 2/06 (2006.01)

H 0 1 M 2/30 (2006.01)

H 0 1 M 2/34 (2006.01)

H 0 1 M 10/04 (2006.01)

H 0 1 M 2/02 (2006.01)

H 0 1 M 2/08 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 M 2/06 K

H 0 1 M 2/30 D

H 0 1 M 2/34 A

H 0 1 M 10/04 Z

H 0 1 M 2/02 K

H 0 1 M 2/08 K

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 18 日 (2019.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

正極及び負極を含む電極と分離膜が交互に積層される電極組立体と、
 前記電極組立体を収容する電池ケースと、
 前記電極と連結され前記電極組立体の一侧から突出する電極タブと、
 一端が前記電極タブと連結される第 1 電極リードと、
 一端が前記第 1 電極リードの他端と連結され、他端が前記電池ケースの外部に突出する
 第 2 電極リードと、
 前記第 1 及び第 2 の電極リードを互いに連結する連結部と、
 前記第 1 及び第 2 の電極リードの一部を覆って融着され、前記第 1 及び第 2 の電極リー
 ドを前記電池ケースに接着させる絶縁部と、
前記連結部に並んで前記第 1 電極リードの一面の特定位置に形成され、前記第 1 電極リ
 ードと前記絶縁部の間の融着を防止する融着防止部とを含み、
前記第 1 電極リードの前記特定位置又は前記絶縁部と前記融着防止部の間の接着力は、
前記第 1 又は第 2 の電極リードと前記連結部の間の接着力より弱いパウチ型二次電池。

【請求項 2】

前記融着防止部は、

前記連結部の一端から前記電池ケースの内側に向かう方向に形成される、請求項 1 に記
 載のパウチ型二次電池。

【請求項 3】

前記融着防止部は、

前記特定位置に摩耗工程を行うことで形成される、請求項 1 に記載のパウチ型二次電池。

【請求項 4】

前記融着防止部は、

前記特定位置に表面処理を行わないことで形成される、請求項 1 に記載のパウチ型二次電池。

【請求項 5】

前記融着防止部は、

前記特定位置に第 1 テープを付着し表面処理を行ってから前記第 1 テープを剥離して形成される、請求項 4 に記載のパウチ型二次電池。

【請求項 6】

前記絶縁部は、

酸処理されたポリオレフィン系樹脂を含む、請求項 1 ~ 5 の何れか一項に記載のパウチ型二次電池。

【請求項 7】

前記ポリオレフィン系樹脂は、

ポリプロピレンを含む、請求項 6 に記載のパウチ型二次電池。

【請求項 8】

前記融着防止部は、

前記特定位置に第 2 テープを付着して形成される、請求項 1 ~ 7 の何れか一項に記載のパウチ型二次電池。

【請求項 9】

前記第 2 テープは、

酸処理されていないノーマルポリプロピレンを含む、請求項 8 に記載のパウチ型二次電池。

【請求項 10】

前記融着防止部は、

前記特定位置に対応される前記絶縁部の位置にフィルムを付着して形成される、請求項 1 ~ 9 の何れか一項に記載のパウチ型二次電池。

【請求項 11】

前記フィルムは、

酸処理されていないノーマルポリプロピレンを含む、請求項 10 に記載のパウチ型二次電池。

【請求項 12】

前記連結部は、

導電材を含む伝導性ポリマーで製造される、請求項 1 ~ 11 の何れか一項に記載のパウチ型二次電池。

【請求項 13】

前記連結部は、

厚さが 1 から 500 μm である、請求項 1 ~ 12 の何れか一項に記載のパウチ型二次電池。

【請求項 14】

前記絶縁部は、

前記第 1 及び第 2 の電極リードが前記連結部を介して連結された部分を覆う、請求項 1 ~ 13 の何れか一項に記載のパウチ型二次電池。